



# ふじのくにユースネット

## FUJINOKUNI YOUTHNET

静岡県青少年育成会議では、  
青少年健全育成事業に対して補助金を交付しています

令和5年度は、10の事業に対して補助を決定しました。その一部を紹介します。

### 富士山の自然にふれる

小ハイキングを行い、世界遺産富士山を自分で見て自然にふれました。(NPO法人 湖西なるっぶスクール)



### 心の健康フェア 講演会

日本障がい者サッカー連盟会長の北澤豪氏による講演会を開催しました。(静岡県精神保健福祉協会)



### 県民運動推進事業費補助金とは...

青少年育成県民運動の積極的な展開を図るため、青少年健全育成事業を実施する正会員の皆様に交付する補助金です。



### 令和5年度 研修会 報告

開催日:令和6年1月21日(日)  
内容:連携・交流を推進するためのオンライン活用  
参加者:14人(オンライン実施)



開催日:令和6年2月19日(月)  
場所:医療法人社団 木野記念会 福田西病院  
参加者:25人



### 新事業 オンラインサロン

- 第1回 令和6年5月24日(金) 9団体参加
- 第2回 令和6年6月20日(木) 5団体参加
- 第3回 令和6年7月18日(木) 5団体参加
- 第4回 令和6年8月22日(木) 2団体参加

以下のことを目的として、毎月1回程度開催しています。  
・青少年育成団体同士が情報を共有し、日頃の活動に役立つこと  
・日頃の悩みを共有することによって気持ちが楽になること  
今後の実施日確認や参加希望のある方は、インターネット「静岡県青少年育成会議 オンラインサロン」で検索するか、下記へ御連絡ください。

### 【編集・発行】【入会問合わせ】

静岡県青少年育成会議事務局 静岡県教育委員会社会教育課内  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
TEL:054-221-3305 FAX:054-221-3362 Email:kyoui\_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp



特集を Check!

わたしの主張 2024 静岡県大会を開催しました

令和6年6月11日に総会と情報交換会を開催しました

総会



情報交換会



### 11月は子供・若者育成支援推進強調月間です

静岡県青少年育成会議では、子供・若者たちの明るい未来のため、「地域の子供は、地域の大人が育てる」をテーマに、毎年県大会を開催しています。

#### 静岡県大会 in 御前崎市

開催日:11月9日(土)  
会場:御前崎市市民会館

#### 基調講演

「子どものネット依存、ゲーム依存の現状と対応」  
講師:樋口 進 氏(国立病院機構久里浜医療センター名誉院長)

#### 秋のこどもまんなか月間



### Contents

P.2-3 特集

- わたしの主張 2024 静岡県大会
- ・最優秀賞作文
- ・出場者発表要旨

P.4

- 令和5年度県民運動推進事業費補助金交付事業紹介
- 令和5年度青少年育成支援に係る研修会 報告
- 新事業 オンラインサロン





# 第46回 わたしの主張 2024

～今、中学生が伝えたいこと～

静岡県大会 in 藤枝市

開催日：令和6年8月19日（月）

場所：藤枝市民会館



応募者12,506人の中から、13人が出場しました



## 『最優秀賞』

### 今を生きる僕たちの使命

浜松市立神久呂中学校 3年 鈴木 颯太

普通の生活とは何だろう。修学旅行で和尚さんから聞いた、「普通の生活が一番良い」という言葉が、ずっと頭から離れない。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから令和6年4月末で既に2年2か月が経過し、両軍合わせて8万人を超える人々が犠牲となっている。民間人の犠牲もあり、ウクライナだけでも1万人以上に上るといふ。世界には、今この時も、砲弾や殺意から逃げ惑っている人たちがいる。突然、死の恐怖の中に投げ出される人たち。生きることさえ否定されている。

最近流行りの、対人攻撃ゲームでは、出撃する時に、まるで遊びに行く人に言うのかのように、「行ってらっしゃい」と元気に送り出される。殺してもすぐに生き返ったり、殺すことが、倒す、排除するといった言葉で表現されたりして、殺しているという感覚を抱きにくい。ロシアによる軍事侵攻の悲惨な現状を報道で目にした今、人の死が軽く扱われているように感じられ、ゲームだからという理由では割り切れない、モヤッとした気持ちになる。

僕はロボットを使ったプログラミングを勉強している。ロボットは、命令する僕の指示が正しければ有益な相棒となり、誤った指示を出せば、間違っただけで暴君となる。ロボットは、人から与えられた命令のみを淡々とこなす機械であって、考えたり、心で感じたりすることはない。人が考え、良いと判断したことをプログラムで指示する。物事の良し悪しを考えたり、状況や、言葉や、言葉の間にある気持ちまでも考えることができるのは、人だけだからだ。だからこそ、僕は問いたい。なぜ、人は、命を奪う行為をするのか。なぜ、話し合いで解決できないのか。なぜ、遠い地域の出来事だからと他人事としていられるのか。人だからこそ、僕たちは、考えなくてはならないはずだ。

僕は昨年、浜松市のピクトグラム選手権に、戦争をなくしたいという思いから、「戦争禁止」というタイトルの作品を提出した。禁止を表す赤い円と斜線の中に、戦車と戦闘機を描いたものだ。もちろん、僕がピクトグラムを描くことで、戦争がなくなるとは思っていない。単なる自己満足かもしれないが、テレビなどの報道を見たら戦争禁止のピクトグラムを描かずにはいられなかった。僕の作品に対し審査員からは、「世界のどこかで戦争が行われているにも関わらず、これまで見たことがなかった戦争の禁止を呼びかけるピクトグラムではっとさせられた」とのコメントをもらった。僕が戦争禁止を描いたことによって、戦争が身近で起こっていること、今、戦禍から逃げ惑っている人がいるということ、そして、当然、戦争をしてはならないということを感じてもらえたのは、本当に良かったと思っている。

お寺の和尚さんの言う「普通の生活」とは、もしかすると衣食住や身の安全が確保されている生活を言うのかもしれない、と思った時、僕は、古文の「ありがたい」という言葉を思い出した。ありがたいは、めったにないという意味で、漢字では有るのが難しいと書く。普通に生活できることは決して当たり前ではない。本当に貴重なのだと思う。貴重だからこそ、そして、この有り難い普通の生活がおかれている今だからこそ、僕たちは勉強、部活や興味のあることに夢中になって取り組んだり、友情を育んだり、自分の将来について思いを馳せたりしながら、全力で生きていくべきではないだろうか。社会にも関心を持ち、普通の生活がおくれない人たちのことも知ろうと努力していこう。そうやって生きていくことは、きっと、有り難い普通の生活をおくることができている僕たちの使命であるはずだ。



## 『優秀賞』



自分らしく生きる

磐田市立磐田第一中学校 3年 村上 果凍

女子なのにとつためらいを乗り越え、応援団員やソーラン節実行委員長に挑戦したことで、私は変わりました。しかし、社会はジェンダー平等とは言えません。何気ない言葉や行動の中に、決めつけや偏見がないかを振り返り、一人の人間として個性や能力を発揮できる社会を実現しましょう。



消えないコメント

静岡大学教育学部附属浜松中学校 3年 富口 柊音

手元のスマートフォンで日常的に情報を手に入れたり発信したりすることが当たり前となった現代。そこで社会問題となっているのはSNSを通じた誹謗中傷です。時には人命すら脅かすこともあるこれら「言葉の暴力」と我々はどう向き合うべきなのでしょう。鍵となるのは「人の想い」です。



日本社会における主体性の在り方

沼津市立長井崎小中一貫学校 9年 日吉 愛海

日本の若者の多くが精神的に未熟であり、問題解決に対する主体性が失われています。過度な批判や過保護な教育環境の影響を受けて失敗を恐れるようになってきているからです。しかし、社会全体で失敗を受け入れて支え合えば、一人ひとりが主体性を持ち、誰もがよりよい人生を歩めるはずで



## 『優良賞』

### 拉致問題の完全な解決に向けて

静岡市立両河内小中学校 9年 吉川 聡一郎

私は、北朝鮮による日本人拉致問題について考える内閣府主催の中学生サミットに参加した経験から、拉致問題を完全に解決するために、まずは知ることが大切だと考えます。そして、拉致問題の風化を防ぐために、周囲の人々に積極的に伝え、関心を持つようにはたらきかけていきます。

### あなたは今、幸せですか

藤枝市立岡部中学校 3年 安達 彩花

自分の幸せの程度を1から10で表した幸福度が、常に6くらいの私が、どうしたらそれを上げる事ができるのかを考えました。日々の小さな幸せを大切に、幸福度を上げられるようなアイデンティティを探求し、確立したいです。自分と周りの人の幸福度まで高められるようになれば嬉

### 「自分らしさ」を求めて

清水町立南中学校 3年 市川 真帆

私は今まで「自分が何をしたいか」ではなく周りの目を気にして生活していました。しかし、桜梅桃李という言葉を知りそれぞれのよさを磨きあげ成長することが大切だと気づきました。「それぞれのよさ」「自分らしさ」を日常的に認め合える素敵な社会になってほしいと思いませんか。

### グローバル化

沼津市立沼津高等学校中等部 3年 飯田 彩花

北海道旅行での経験と外国人労働者の方々との交流から、私たちの周りでもグローバル化が進みつつあると実感しました。ますます進むことが予想されるこの大きな流れの課題は、私たちの外国人に対する「心の壁」だと思います。それを解決する方法を考えました。

### 共感賞 大切な人との時間

私たちはいつ大切な人の死に遭遇するか分かりません。いつも通り過ごしていても、それが最後の姿になるかもしれないのです。想像してください。明日突然会えなくなることを。会いたい人と会い、気持ちを伝え、共に生きている幸せを今、噛み締めてください。後悔しないように。

### 思いを行動に

沼津市立浮島中学校 3年 野崎 愛花

見てぬめふり。無視。ずっとこうしてきた私はある女性に出会ったことで、「助けて」「力になりたい」という気持ちだけで踏みとどまらず、行動に移すことが大切だということ学びました。思いを行動にすることは自分を変える一歩であることを伝えたいです。

### 僕の小さなボランティア

藤枝市立青島北中学校 2年 松井 勇樹

憧れの恐竜博士に「どうしたら恐竜博士になれますか」と質問した時「人と関わりなさい」と教えてもらいました。当時の僕には真意が分かりませんでした。ボランティア活動を通して、人とのつながりの価値を学びました。そこから博士の言葉の意味が分かり、夢に一歩近づいた気がしました。

### 笑顔の意味

牧之原市立榛原中学校 3年 片瀬 香町

「いい顔で試合をして欲しい」。新しい顧問の先生がかけてくれた言葉が、自分を取り巻く人とのつながりを考えるきっかけになりました。笑顔は、私の視野を広げ、たくさんの味方がいることに気づかせてくれました。将来、自分に悩むことがあっても笑顔の力で前に進んでいこうと思

### AIと共に人が感動するイラストを

藤枝市立瀬戸谷中学校 3年 古谷 希

日々進歩しているAIと、私達人間はどのように向き合っていくべきなのでしょう。特に、人に感動を与えることのできる芸術の分野に関しては、これからさらにAIの技術が上がっていく中でも、慎重になる必要があると思

### 共感賞とは…

来場した中学生が投票して選ぶ特別賞です。発表の中から、「わかるな」「そうやってほしいな」など、最も共感を得た発表者が選ばれます。

### アトラクション

藤枝市立瀬戸谷中学校和太鼓実演隊の皆さんに、藤枝で行われる花火やお祭りをイメージした、「我他彼此」と「藤の祭典」の2曲を演奏していただきました。



主催 静岡県教育委員会  
静岡県青少年育成会議  
独立行政法人国立青少年教育振興機構  
共催 藤枝市教育委員会

後援 静岡県校長会  
公益社団法人静岡県私学協会  
静岡県PTA連絡協議会  
静岡県私学保護者会  
協賛 静岡県遊技業協同組合

最優秀賞は、全国大会出場候補として

関東・甲信越静岡ブロックへ推薦されます！